

高陵校区・中宮北校区合同説明会質疑回答
～枚方のモデルとなる新しい学校づくりを地域と共に～

1. 日 時 令和3年3月27日(土) 14時から16時まで
2. 場 所 中宮北小学校 体育館
(参加者：高陵校区・中宮北校区 37名 高陵小・中宮北小学校長)
3. 内 容 ・高陵小学校と中宮北小学校の新しい学校づくり(学校統合)について
・高陵校区からの要望書について
・中宮北校区からの意見書について
・今後の予定等について
4. 説明者 栈敷教育支援推進室課長、畑中学校安全課長、嶋田課長代理、中山係長、
多田主任、廣瀬主任

(事務局)

<高陵校区・中宮北校区合同説明会> のパワーポイントによる説明

資料の説明をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

まず、表紙を御覧ください。「枚方のモデルとなる新しい学校づくりを地域と共に」というタイトルにさせていただいております。本日、ここに来させていただいております教育委員会の職員一同、高陵小学校と中宮北小学校を一つの新しい学校にするに当たり、枚方のモデルとなるような学校に、そして跡地活用により、魅力ある地域を保護者や地域の皆様とつくっていきたいと考えておりました、このようなタイトルにさせていただいております。よろしくお願いいたします。資料の右下に小さな数字でページを表しております。これによりページを御確認ください。それでは、まず3ページを御覧ください。

(P3)

中宮北小学校・高陵小学校の現状と将来推計について記載しております。

2ページの上の段の表ですが、令和2年5月1日現在の中宮北小学校と高陵小学校の「0歳児から5歳児まで」の幼児数、その右には、「学年別の児童数」を表しております。

1年という表記のところに(35)と書いてあります。1年という表記の隣に(35)と書いてありますが1年生から4年生までは、1クラス35人を基準としていることを表しております。5年、6年は、1クラス40人学級となっております。

中宮北小学校は、中宮北小1年生のところを見ていただきますと、27人の1クラスで(1)は、支援の児童が一人おられて、この一人は27人の中に含まれています。

高陵小の1年生を見ていただきますと、38人の児童がおられて、現在2クラスとなっております。(1)とありますので支援の児童が、お一人いらっしゃることを表しています。

この表の一番右端を見ていただきまして、中宮北小学校は合計が207人で8クラス、うち15人支援の児童がおられまして、5クラスとなっております。高陵小学校は合計188人の児童がおられて、8クラスとなっております。これは、どちらも小規模校という位置づけとなるもの

です。

その下の表をみていただきまして、令和3年から令和8年までの児童数と学級数の「将来推計」を表したものです。令和3年から8年までは、教育委員会で把握している将来推計で、その隣、令和10年、15年と5年置きに令和30年までであるのは、枚方市の人口推計調査、令和2年2月時点の数字となっております。

中宮北小のところを見ていただきますと、令和3年は7クラスで、令和8年では11クラス、一番右端、令和30年には6クラスの推計となっております。高陵小では、令和3年では9クラス、令和8年では8クラス、一番右端、令和30年では6クラスと推測され、推計の上ですが、令和30年まで両校とも小規模校ということになります。

教育委員会の考えとしましては、子どもたちの社会性や協調性をさらに育成するためには、多くの児童・お友だちに接し、多様な考え方に触れることができますよう、一定の学校規模を確保することが重要と考えまして、中宮北小学校と高陵小学校を一つにする「新しい学校づくり」を進めております。

次に4ページを御覧ください。

(P4)

ここでは、中宮北小と高陵小が令和4年度に一つになったと仮定しまして、学級数と児童人数を計算しております。

一つになった場合は、1年生は72人の3クラス、1クラス当たりの平均は24人という推計となります。表の一番右端の合計のところ、合計は391人で14クラスとなります。両校を一つにした場合でも、枚方基準の少人数編成で、きめ細やかな指導を行いたいと考えております。

その下の表は、「両校を一つにした場合」の学級数と児童人数の将来推移を表しております。ここでは、令和6年度に5年生が、令和7年度に6年生が一クラス35人学級になったと想定して試算しております。

令和5年には、児童415人で15クラス、令和10年では、児童数486人で18クラスと推計しております。小学校の場合、12クラスから24クラスが適正規模という基準ですので、これは20年後の令和30年まで適正規模となる予測となるものです。この学校に通いたいと思っていただけるような、枚方市のモデル校となるような学校づくりをめざしてまいりたいと考えております。続きまして、5ページを御覧ください。

続きまして、5ページを御覧ください。

(P5)

これまでの経過としまして、高陵小学校と中宮北小学校の統合に関して、実施しました説明会や地域を代表する方々との協議の経過を記しております。

平成28年3月の枚方市学校規模等適正化審議会（第四次）からの答申で「高陵小学校と中宮北小学校を統合し、高陵小学校敷地に統合校を設置する」ということを受けまして、6月と7月に中宮北校区・高陵校区において、それぞれ答申の説明会を実施し、また9月に中宮北小学校統廃合問題検討委員会様との協議を実施しています。

中宮北小学校統廃合問題検討委員会様は、中宮北小学校区の中で、コミュニティ協議会や保

護者の方、また学校に関する有識者で構成された、学校統合に向けて検討する部会として立ち上げられたものです。現在に至るまで、教育委員会との窓口として協議をさせていただいております。

平成 29 年 1 月に中北検討委員会の勉強会に教育委員会担当者が参加させていただき、3 月には、答申を受けて、学校規模等適正化基本方針（改定版）の素案のパブリックコメントを実施しています。

6 月に「高陵小学校と中宮北小学校を学校統合する」という改定基本方針を策定しまして、7 月から平成 30 年 2 月にかけて、中北検討委員会様と保護者、地域の皆様に対し、改定基本方針の内容説明や意見交換会を行っております。

続きまして、平成 31 年 2 月から 7 月に高陵小学校法面調査を行いまして、令和元年 12 月に高陵、中宮北校区合同で高陵小学校法面調査の結果について説明会を行っております。そして、令和 2 年 2 月から 12 月の間に中宮北小学校保護者説明会の実施に向け保護者・地域と協議をさせていただいております。

令和 2 年 11 月と 12 月に 3 回に分けて中宮北小保護者説明会の分散実施を行っております。これは令和 2 年 3 月に実施予定だったものが新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い延期となったものです。

そして、令和 2 年 12 月から、高陵小・中宮北小校区の地域・保護者・学校の代表者と「新しい学校づくり協議会」発足に向けた協議を行ってきました。

令和 3 年 3 月に入りまして、高陵校区コミュニティ協議会様と高陵小学校 P T A 様からと、中北検討委員会様から教育委員会に対し、意見書、要望書の提出をいただいております。

また、3 月 19 日の教育委員会定例会で「枚方市学校規模等適正化実施プラン」を策定しております。

続いて 6 ページを御覧ください。

(P 6)

6 ページには、その「枚方市学校規模等適正化実施プラン」に記載しています新しい学校の敷地についてお示ししております。

審議会の答申には、「通学距離や通学様態、校区範囲と学校の位置関係、中学校との関係から、高陵小学校と中宮北小学校との統合案が最善の方策である。統合校の位置については、学校の位置や保有教室数、学校の沿革等から高陵小学校敷地が望ましい」と記載されています。

このことを踏まえまして、教育委員会の実施方策としましては、高陵小学校と中宮北小学校を統合し、高陵小学校敷地に統合校を設置いたします。また、高陵小学校の校舎の耐力度調査結果を踏まえまして、校舎等を建て替えし、より魅力的な学校にいたします。建て替えの間、高陵小学校児童を一旦、中宮北小学校で受入れ、その時点を学校統合といたします。以上を実施方策といたしました。

敷地決定の主な理由としましては、高陵小学校敷地は校区の中心により近く、正門、通用門付近において、車両交通が少ないこと。高陵小学校の校舎の耐力度調査の結果、国庫補助金の交付等を含め、長寿命化改修だけではなく、建て替えによる整備手法を選択できること。中宮

北小学校敷地は、歩道が整備され、かつ幅員6メートルの市道に面しており、交通条件が整っていることから、跡地活用として多彩な用途が検討できるとさせていただいております。

次に7ページを御覧ください。

(P7)

「実施プラン」に記載しています「新しい学校像」目指すべき学校像の骨子をお示しております。

まず、教育環境について、近隣大学（具体的には、関西外国語大学でございます）と連携を図り、英語教育に力を入れること、そして現在も進めておりますICTを活用した環境づくりを引き続き推し進めること、そして、誰にも優しい、使いやすい校舎・施設を目指す「ユニバーサルデザイン」を重視すること、そして、木材を利用した施設づくりなど、環境に優しい校舎・施設づくりを行いたいと考えています。

次に「安全・防犯・防災」については、防犯カメラやAEDの設置はもちろんのこと、地域の防災拠点として十分機能するような施設づくりをいたします。

そして「地域連携」としまして、地域とつながる小学校を造りたいと考えています。

次に8ページを御覧ください。

(P8)

8ページには「実施プラン」に記載しております、中宮北小学校の跡地活用についてお示しています。

地域の活動場所や、避難場所、新しい小学校への通学路等の確保を含め、今後、両校の地域・保護者等のご意見をお聞きしながら、公的な施設を検討したいと考えています。その中で、跡地整備のための財源確保が必要になった場合や、あくまでも「不要地」が出た場合は、一部売却の可能性があります。

続きまして、学校統合「新しい学校づくり」を進めるにあたり、高陵校区コミュニティ協議会様、高陵小学校PTA様から要望書、中宮北小学校統廃合問題検討委員会様から意見書をいただいておりますので、その内容についてご紹介したいと思います。

令和3年3月、高陵校区コミュニティ協議会、高陵小学校PTA、中宮北小学校統廃合問題検討委員会様から魅力・特色ある学校づくりや支援学級への対応、避難場所の確保に係る要望書と意見書をお受けいたしました。

(P10)

高陵校区様からの要望書の中で、「新しい学校づくりを進めるにあたり、全ての案件に対し柔軟な対応をお願いします」といただいております。

中宮北校区様からの意見書では、「要望を市側が受け入れる考えを持っている場合には、高陵小学校校地とする中宮北小学校と高陵小学校を統合する計画を受け入れることにしたい」とご意見をいただいております。

さらに両校区の要望書・意見書の中には、要望のほか、新しい学校の施設に関すること、他校区における、今後の統合計画策定における地域住民の合意形成の問題等についても、ご意見をいただいております。

教育委員会としまして、両校区から要望書・意見書を真摯に受け止めまして、枚方市の関係部署と連携し、また新しい学校づくり協議会で協議・検討を行い、課題解決に向け進めてまいります。また、課題に対する取組については、皆様にお知らせできるよう努めてまいりたいと考えています。

次に 11 ページを御覧ください。

(P11)

高陵校区様、中宮北校区様からいただきましたご要望・ご意見の主な内容を記載しております。ここでは、内容の区分として「学校に関すること」「保護者に関すること」「校区コミュニティ協議会に関すること」「跡地活用に関すること」「地域に関すること」に分けさせていただきます。

「学校に関すること」としまして、魅力・特色のある学校づくり、少人数学級の維持、支援学級（新しい環境への順応が困難な児童）への対応、中宮北小学校敷地での令和4年の統合校、高陵小学校敷地での令和8年新設校における安全な通学路の確保、留守家庭児童会室への対応、安全な学校づくり、環境に配慮した学校、両校合同での行事の開催、交流授業の実施、高陵小学校の急傾斜地の常時点検、直上建物の設置を避けること、とご要望をいただいております。

「保護者」に関することとしましては、PTAの委員活動の負担軽減、保護者説明会の開催、とご要望をいただいております。

「校区コミュニティ」に関することとしまして、コミュニティ活動の継続維持、集会室防災資機材倉庫及び災害用備蓄品倉庫等の十分な部屋等スペースを確保とご要望をいただいております。あと、地域活用に関することとしましては、住民の声を聞き、跡地利用の計画策定といただいております。地域に関することとしまして、今後の統合検討プロセスの提示、避難場所の確保、いきいき広場と学校施設開放事業の在り方の検討等、地域での交流場所や地域行事に関するスペースの確保、とこのようなご要望をいただいております。

いただきましたご意見、ご要望につきましては、教育委員会として、真摯に受け止め、解決に向け協議をしていきたいと考えます。

また対応につきましても、できるだけ速やかに保護者や地域の皆様にお知らせしたいと思っております。

次に今後の予定について説明をさせていただきます。

13 ページを御覧ください。

(P13)

令和3年4月から、学校をはじめ地域や保護者、教育委員会等からの代表を委員として構成します「新しい学校づくり協議会」を発足させまして、統合に向けた様々な課題について協議・検討をしてまいります。

そして、ここには記載はしていませんが、令和3年秋頃から、中宮北小学校で仮設校舎の建築工事に入る予定です。

令和4年4月に高陵小学校の建て替えのため、高陵小学校児童の皆さんが一旦、中宮北小学校に通い始めた時点で、学校統合するものです。約4年間の工事期間を経て、令和8年4月を

目標としまして、児童の皆さんが現・高陵小学校敷地での新校舎に移るスケジュールとしています。

次に 14 ページを御覧ください。

(P14)

「中宮北小学校への一時通学について」をお示ししています。令和4年4月から高陵小学校児童の皆さんが中宮北小学校に移り、その時点を学校統合とする予定ですが、教室数を確保するため、仮設校舎を設置します。図の中に仮設校舎の位置を点線で示しておりますが、仮設校舎は、平屋2教室と4教室の合計6教室を予定しています。

工事期間は、令和3年度、手続が整い次第着手しますが、予定では、秋頃に開始し工期は5か月程度を見込んでいます。工事にあたっては、授業への影響を極力抑え、児童の安全確保を徹底いたします。

また令和8年予定の新しい学校に移るまでの間、中宮北小学校の施設等に不備が生じた場合は、速やかに改修等の対応をまいります。

次に 15 ページを御覧ください。

令和3年4月初旬に発足します「新しい学校づくり協議会」の概要（イメージ）図をお示ししております。

この会の目的は、令和4年4月の学校統合までに決めておかなければならないことや、令和8年4月の新しい学校の開校までに準備しなければならないこと、「新しい学校に関すること」「通学路等、安全・安心に関すること」「地域・PTAに関すること」の三つに区分けしまして、これらの諸課題の解決に向け、取り組んでいく協議体となります。協議会の委員構成としましては、地域や保護者様の代表、学校からの代表、教育委員からの代表もメンバーとして考えています。

事務局は現在の学校安全課、4月からは「新しい学校推進室」という名称になりますが、「新しい学校推進室」が担当し、新しい学校づくり協議会で検討していただいた案を教育委員会や市に提案し、できるだけその案を尊重した形で委員会や市が方針決定をするという形になります。

次に 16 ページを御覧ください。

16 ページでは、「新しい学校づくり協議会」で協議・検討する主な項目について記載しております。

表の1段目「新しい学校に関すること」としまして、新しい学校名、校歌（作詞・作曲）、校章・校旗、式典関係、学校の運営、学校施設などに関することの検討項目を挙げております。

2段目の「通学路の安全・安心に関すること」としましては、通学路、児童、保護者の皆様の不安の解消などについての検討を考えています。

3段目の「地域・PTAに関すること」としまして、PTA活動、学校開放事業やいきいき活動、跡地活用に関することなどを検討項目として考えています。

これらの検討項目を令和4年の4月までに協議すること。令和8年4月の新設校への移行までに協議することに分け、検討していく予定です。また、今後、新しい学校づくり協議会での

協議内容について、保護者や地域住民の皆様への速やかな情報発信に努めていく考えです。

最後になりましたが、保護者の皆様には、学校統合により、通学路はどうなるのか、安全なのか、というご心配や学校統合による環境の変化について、お子様の心理的不安、友人関係への影響はどうか、などのご心配が大きいことかと思えます。地域の皆様にとっては、学校が一つになることによって、地域の活動場所がどうなるのか、防災の拠点はどうなるのか、というようなご心配があらうかと思えます。

教育委員会としましては、令和3年度中に通学路の安全確認の作業をしていくことや、両校児童の交流など、統合までの1年の間に、両校の子どもたちが不安なく自然に中宮北小学校で過ごすことができますよう、取り組んでいく所存です。保護者や地域の皆様からも、ご意見・ご提案をいただきたいと考えております。どうぞよろしくお願ひいたします。

本日、この場でご意見をいただくとともに、「新しい学校づくり協議会」での今後の参考にさせていただきたく、アンケートの用紙を用意しておりますので、よろしければ「新しい学校づくり協議会」の検討事項に関するご意見・ご要望を御記入いただきまして、4月9日（金）までに高陵小学校と中宮北小学校に備付けの投函箱に入れていただきますか、学校安全課ホームページ（4月1日以降につきましては、名前が「新しい学校推進室」となります）当課ホームページより様式をダウンロードしてご記入いただきまして、ファクスまたは電子メールでのアンケート用紙の右下に記載してあります連絡先にご送信いただけたらありがたいです。よろしくお願ひします。

また本日、後方の受付にも投函箱を設置しておりますので、この場でお書きいただいても構わないです。

なお、必ずしもいただきましたご意見をすべて反映できるわけではございませんので、御了解をお願ひいたします。

また本日、ご説明させていただきました「枚方市学校規模等適正化実施プラン」を会場の後方、机の上に置いてありますので、ご希望の方はお持ち帰りください。「実施プラン」につきましては、枚方市学校安全課、4月からは、「新しい学校推進室」のホームページにも挙げておりますので、御覧ください。

以上で資料の説明となります。ご意見等いただきますよう、よろしくお願ひいたします。

《質疑回答》

（意見1）

学校づくりについてはよく理解しているし、小規模校の手厚さはありますが、多くの集団の中でのこうすべきことがあるのかなと思いました。また、支援学級のダブルカウントということでもとても恵まれていると感じました。私が一点心配していますのは、留守家庭児童会についてです。子どもたちが元気に通えるのは、留守家庭の環境整備がとても必要で、その視点がちょっと示されないのは残念だなと感じました。今でもかなり狭い場所で見させていただいてますので、子どもたちがどうしても大変な思いをすることが多いのかな、空間の確保が必要なのかなと感じます。そうした点についても真摯とか協議だけではなく、きちんと対応していただき

早期の説明をお願いしたいと思っています。以上です。

(回答1)

今回の説明会では詳しくご説明することはできませんでしたが、先ほど言いましたように、今後統合するために、そうした課題について検討してまいります。留守家庭児童会室につきましても、今いただきましたご意見、それから今の実情を把握させていただいた中で検討させていただきたいと思っております。

(意見2)

子どもが支援学級に6年間、在籍していました。新しい学校では、支援学級のほうも大切にしていきたいという気持ちがとてもあります。統合する年に1年生の支援学級を希望されている方は、1年前から支援学級、支援学校について検討を始めて、枚方市に11月頃に回答して支援学級にするのか、支援学校にするのかを一足先に決めないといけないと思いますが、来年度1年かけて統合の新しい学校づくりをするとすると、自分の子どもを支援学級に入れたいのか、支援学校に入りたいのか検討しようにも、新しい学校がどのような学校になるのかというのが、今まったく分からないので、それぞれの学校の支援学級の先生たちに新しい学校について聞いても、当然御存じないですし、クラスが何学級になるのか、子どもたちが何人いて、先生がどれくらいつくのかというのも全く白紙の状態、その中で11月までに支援学級に行きたいのか、支援学校に行きたいのか決めなさいというのは、ちょっと無理があるんじゃないかと思えます。

私の子の場合だと手帳が取れなかったもので、支援学校はそもそも除外で支援学級一択しかなかったのですが、どちらにするかというのは、今の学校がどのような運営をされているのかで大きく変わってくると思います。ここの支援学級だったら任せても大丈夫かなと思って支援学級にしているというところもあるので、今のままだと、11月には決められないだろうし、実際に年長になられる方のお母さんから、支援学校か支援学級かで悩んでいるけどこのままではどちらにしよう、分からないという話を少し聞いたこともあるので、そのあたりを配慮いただいて考えていただかないと、在籍してる兄弟の下の子が入るというんだったら、まだ学校の様子分かるかと思うのですが、第1子で全然学校のことを知らないお母さんがおられると、11月までにどちらかに決めなさいと言われても選択のしようがないので、支援学級はこういうふうにしますなり示していただきたいと思えます。もちろん先生も新しく変わってしまうと、支援学級に今在籍している子どもたちも、特に高陵小児童は中北小に動かないといけなくなるので環境がいきなり変わってしまうというのがありますし、統合するときには6年生になる子は、6年生1年だけ中北小にいて、また中学校に行って、また新しい支援学級に入らないといけないと環境がどんどん変わって行って、対応するのがどんどん大変になっていくというのも、学校統合という大人の事情というだけで子どもを振り回すわけにはいかないもので、子どもたちが過ごしやすい環境をもう少し考えていただきたいと思えます。ユニバーサルデザインの学校をつくっていただくのは、とても素晴らしいことありがたいことなんですけど、それよりも子どもたちの心を先に考えていただいて、お母さんたち、お家の方たちが、どちらを選んだらいいのかと検討できるだけの材料を先に出していただいたらいいのかなと思っています。次、中

学校に支援学級の人数が多いからということで、学校から改めて面談の日にちも指定されてきているので、そういうのが今のままだと事前にはできないので、少し配慮いただけたらありがたいと思いますので、検討いただきますようよろしくお願いいたします。

(回答2-1)

今申しましたように、どのような学校運営にするのかというのを早急に検討してまいります。また、皆さまにはできるだけ早く情報をお伝えできるように努力してまいります。今おっしゃられた支援学級について、どのような形で運用していくのかということも、できるだけ早く皆さまにお伝えできるようにと思います。

(回答2-2)

今年度は、新型コロナウイルスの関係上、参観はできなかったんですが、令和3年度の就学相談は、できるようであれば従来どおり6月ぐらいから進めてまいります。

また、11月頃に支援学級にされるか、支援学校にされるかということにつきましては、支援学校か支援学級かという部分では、実際に6年間の教育課程が大きく異なっております。支援学校は、基本的には生活面をベースにした教育課程、地域の学校の支援学級では、教育をベースにした教育課程ということで、そこが大きく異なっております。療育手帳の所持というのは求めておりません。あくまでも、この小学校生活の6年間でどのようなことを子どもたちに獲得させていきたいかをベースにして、最終的に教育委員会で判断しております。支援学級は、単年度設置の学級でありまして、障害種別を基に学級を設置していきます。その中で支援教育においては、中宮北小学校や高陵小学校、また、他の小学校もそうですが、基本的に大きく変わるということは考えておりません。基本的に、同じ支援学級で教育課程を修めることにおいては、同じ状況で進めていくことを考えております。その中で、知的障害、肢体不自由、病状・身体虚弱、自閉症・情緒障害等の学級について、そこに何人在籍するかによって、学級数は異なります。それも来年度、夏ぐらいから校長先生と相談し、設置を開始していきます。9月末、10月の運動会が終わったところに支援学級の見学等をしてもらいますが、その際には、来年度、どのような支援学級が設置できそうかというところは、ある程度わかってくると思います。

実際に支援学級の様子等を見学してもらう時には、基本的に、高陵小学校と中宮北小学校のどちらを参観されても同じような状況だと考えています。

また、来年度、両校の校長先生にできるだけ交流を深める取組をご相談・ご協力いただいて、実際に令和4年4月1日に子どもたちが初対面となるような場面にならないよう配慮していきたいと思います。

(意見3)

今日の説明会なんですが、いつもの質疑回答の議事録というのは、作っていただけののでしょうか。

(回答3)

作成します。

(意見4)

ホームページのほうに挙げてもらえると助かるのですが、より多くの方に周知していただけるということで、プリントアウトしたものを配布していただくことをお願いしたいです。地域にも回覧板で回してもらいたいのですが、可能でしょうか。

(回答4)

議事録の紙配付は大規模な量となりますので、学校ともご相談させていただきながらホームページ等を活用してということも考えさせていただきたいと思っております。

(意見5)

地域からは、回覧板で回してもらうことはできますか。

(回答5)

コミュニティにご相談させていただいた上で、できる限り皆さんへご周知していきたいと思っております。

(意見6)

質疑回答録は、いつまでに作っていただけますか。

(回答6)

そこにつきましては、できる限り早く作成して皆さまに見ていただけるように努めてまいります。

(意見7)

大体どれくらいでしょうか。

(回答7)

作成して、皆さんにお見せする上でも手続きがございますので、今のところでは、できるだけ早くとしか言いようがありません。早ければ来週ぐらいから作っていきたく思っておりますので、1か月は見えていただきたいと思います。

(意見8)

第1回目の説明会の時の質疑回答録というのは、出るまでに1年かかっているんですね。できるだけ早くお願いします。

(回答8)

そのように努めさせていただきます。

(意見9)

地域の説明会というのが、今日で2回目になるんです。1回目のときには、何回も説明して理解、協力を得られるようにしますと言っておられましたが、5年間何もなくて今日が2回目なんです。今回私の質問事項をずっと言っていったら、30分ぐらいかかってしまい、出席された方に迷惑になりますので、プリントアウトしたものをお配りしますので、それを質疑回答録に載せていただいて、ご回答いただくことは可能でしょうか。

(回答9)

可能です。

(意見10)

このプリントアウトしたものを要約したり、端折ったりせずにそのまま出してもらって、そ

れに対しての回答というところをお願いいたします。

(回答 10)

わかりました。

(意見 11)

少しだけ本日、聞きたいのですが、説明会の資料の5ページ目、令和元年12月、「高陵小学校法面調査結果について」の後なんです、令和2年2月に教育委員会で文教委員協議会に報告されていますよね。統合校敷地は高陵小学校にしますと出ているんです。その辺のところが抜けているのではないのかと思うのと、なぜここでいきなり、こういう話になったのかというのが気になるんです。2月から12月、中宮北小学校保護者説明会の実施に向け、保護者・地域と協議とあるのですが、これはどんな協議をされたのでしょうか。私も保護者何も知らなかったのですが、どこでこういうふうにされたのかというところをお聞きしたいんです。

話が飛びますが、今日の説明会について、中宮北校区の方に対して、どのように本日、説明会がありますというのを周知されたのでしょうか。ホームページに出たのが2日前ですよ。

「今日ありますよ」という回覧板も何も回ってないので、誰も知らないんです。第1回目の時は、116名の方が集まっているのですが、今日は10名足らずというところで、全然周知できていないのにやる意味があるんですかということです。この日にやるというのが分かっているのに、なぜ2日前にホームページにあがってくるのでしょうか、というところを少し聞きたいです。

それと、5ページに高陵小学校の校舎の耐力度調査の結果、国庫補助金の交付等を含め、建て替えによる整備手法を選択できるということが、決定の主な理由ということで書いてあるのですが、そもそも、国庫負担金というのは、統合のための建替えや増築、改修などは、基本的に半額が補助されることが決まっているんです。中宮北小学校敷地に統合校を置くとなった場合でも、同じく建替えの選択はできると思いますし、耐力的に増築、改修工事は選択することができんです。市の負担を軽くして今後の児童数の変化にも柔軟に対応できると思われまじ、跡地決定の理由として、この記載の仕方は少し不適切かなと思います。その下、中宮北小学校敷地は、歩道が整備され、かつ幅6メートルの市道に面しており、交通条件が整っていることから、跡地活用として多彩な用途が検討できるとあるのですが、逆を言えば、高陵小学校のほうは、歩道は整備されておらず、市道からは奥まったところにあることになるんです。この敷地というのは、文科省の施設整備指針の校地計画-校地環境-安全な環境で言われている条件には適してないことになるんです。学校としての敷地に適してないと思いますので、敷地決定の理由としては、少し間違えているのではないかと思います。

あと仮設校舎の位置も資料に出てきているのですが、跡地利用のことを考えて、例えば校区集会室やコミュニティ室等について仮設校舎を利用することを前提として設計すれば、仮設校舎は無駄になりませんし、資料の跡地活用のところでは、財源確保のため土地売却の可能性があるとされています。新しい学校の整備にお金がかかり過ぎて、跡地の土地を売りますでは困るんです。そして、計画と予算を立てる前に、早く中宮北校区に窓口をつくって協議を開始していただきたいんです。また、中北検討委員会から出された意見書の約束も守っていただきたい

いと思います。

先週、子どもが説明会開催のプリントを持って帰ってきたんです。そこに新しい学校づくり協議会は令和4年4月から実施と書いてあるのですが、これは令和3年の間違いですよね。こんな大事なところを間違えられたら困るんです。訂正をお願いします。

(回答 11)

まず今回の説明会につきまして、十分に周知できていなかったということがありましたことにおわび申し上げたいと思います。地域の回覧がこなかったということですが、我々地域の方々にしっかりお願いができてなかったこととなりますので、今後、こういうことがないように取り組んでいきたいと思っております。

そして文教委員協議会の件ですが、議会には、地域との協議を重ねさせていただいた上で実施プランを策定すると報告しています。保護者説明会を開催してから実施プランを策定するという中宮北校区とのお約束がございましたので、コロナウイルスの影響で説明会を中止したこともあり、今回の説明会につきましては、1年遅れて皆さんにお伝えすることになりました。

先ほどご説明させていただいたように、統合まであと1年しかございませんが、いったん中宮北小学校で両校児童がともに学校生活を送る上で支障がないよう学校運営を行いたいと考えておりますので、どうぞご理解のほどよろしくお願ひいたします。

次に協議はどこで、どのように行われたかということですが、校区やPTAの代表者、学校等を含め統合を進める上での協議を重ねてきました。1年しかございませんが、その中で早く子どもたちの教育環境を築いていくということで教育委員会が判断し決定させていただいた次第でございます。

次に、建て替えの件につきましては、中宮北小学校は比較的新しい校舎になっておりますので、耐力度調査をしますと、建替えまでの補助金が交付されないという結果になります。例えば中宮北小学校を選択したとしても、枚方市の財源のみでの建替えは困難であると考えています。建替えの理由のみで、高陵小学校敷地を選択したことはございませんが、高陵小学校で建てることによって財源も確保し活用して、現代の教育に見合うすばらしい学校と跡地活用もあわせた都市づくりを考えていけるのではないかと、教育委員会は考えています。新しい、モデルとなるような学校をどのようにして、施設づくりをしていくかということをごさまたともにつくり上げていきたいと、考えております。

次に仮設校舎につきましては、今後どのような使い方をするかについて学校と相談、協議しながら、設計していきたいと思ひます。令和3年度からは、仮設校舎の校舎の設計を行っていきます。その中で、今、申し上げていただきましたご意見も考慮し、また皆さまにお伝えさせていただきたいと思ひます。

高陵小学校は、決して安全に適してない敷地ではありません。両校とも安全な場所であり学校に適しています。その中で、先ほども言ひましたが、跡地活用を考えるうえでは、多彩な用途において実現性の高い場所を選択すべきと考えております。そういった中で地域の魅力を図る観点から新しい学校と跡地活用の敷地を選定させていただきましたのでご理解よろしくお願ひいたします。

(意見 12)

周知できてなかったというところなんです、これはちゃんと周知した後に、もう一回説明会をしてもらえますか。

(回答 12)

ご要望がございましたら、また、話を聞きたいということがあれば、個々に教育委員会がご説明させていただきます。今回と同じ説明会を再度開催することは考えておりませんが、説明会等は今回限りではなく、どのような学校づくりをしているかということ、今後も引き続き皆さまに情報発信していきたいと考えております。

(意見 13)

今日質問させてもらったことはこのプリントにも書いてあるので、もう一度もち帰って、ちゃんと返事をいただきたいんです。また跡地のほうでも、そちらのほうからご報告させてもらいますということですが、最初に決める段階で、中宮北校区の住民の方の意見を聞き入れることをしてほしいんです。今回のように、最初にそちらで決めたことだから、というところで進めてほしくないんです。地域の説明会も5年前に1回だけ、保護者の説明会も3年前に1回だけ、質疑回答録は1年後に出る、説明会以外に行われた協議で高陵小敷地に統合校が決定する、中北検討委員会と協議して決めました、そんなの知らないし、何も聞いてないし、何でそんな勝手なことをされるのという思いです。そして中北検討委員会から意見書を提出しました、と言いますが私には何も相談受けてないし地域の総意ではありませんし、どんどん話が進んでいくので、これが本当に地域住民の方の理解と協力を得るための丁寧な進め方なんでしょうか、というのが疑問なんです。

(回答 13)

地域の方々のご理解とご協力を得るために協議を重ねてきましたが、その協議内容が皆さま方にきちんとお伝えができていなかったことは反省点でございます。先ほど説明させていただきましたが、今後新しい学校づくり協議会を立ち上げさせていただきます。これにつきましては、同じようにPTAの方々、地域の方々、そして学校と入っていただいた中で、どのような学校をつくっていくか検討してまいります。それをいかに皆さまに情報を伝達するか、課題として考えていきます。今いただいたご意見を真摯に受け止め、できる限り皆さまにお伝えできるように努めてまいりたいと考えております。

(意見 14)

地域の方々と協議を進めてと言われてましたが、ちゃんとできてないですからね。コミュニケーションとれてないです。相互理解が得られてないです。要は、検討委員会の長の人とだけ話ことができましたということですね。

(回答 14)

固定的な方とだけ協議しているのではないかとご意見をいただきましたが、今後、進めていく上にあたって、皆さまのご意見やご心配がどのようなものかお聞きした上で、検討していきたいと考えます。皆さま方に今回、アンケートをお配りさせていただくことも一つでございます。できる限り皆さまと交流できるように、情報が行き渡るように取り組みたいと思います。

またお気づきのことや、ご意見をいただけたらと思います。

(意見 15)

最後になります、高陵校区の方は、新しい学校になってびかびかの学校になって、羨ましい限りですごくいいなと思うのですが、学校がなくなる側は跡地に何ができるかわからないこの状況で、お互いが協力して新しい学校をつくっていかうとなりますか。普通ならないと思うんですよね。今の状況ではどんどん話ばかり進んでいって、中宮北校区の人は、ずっとおいてきぼりです。こんなんでいいんでしょうかと思います。今日、お渡しするプリントですけど、同じものを10部ほど用意しましたので、帰りに机の上に置いておきますので、出席された方、よかったら持って帰ってください。

(意見 16)

先ほどの質疑応答の中で、中宮北小学校と高陵小学校どちらも安全な学校ですとおっしゃられました、令和元年の12月に法面調査結果の報告会の時に、中宮北校区側の意見で調査結果の安全率や法面への不安についてのご意見が出たと思うんです。決定事項ですとのことですが、やはり法面の安全性を考えながら進めたいと思います。また、今回の説明会の案内についても、穿った見方はしたくないのですが、参加させたくないという意図があって、そうした措置をとったのではないかという見方もできるんです。やっぱり、皆さま方に本当に意見を求めたい、聞いてほしいということであれば、余裕をもって案内をしてほしいんです。そして、中宮北校区の意見書で、「要望を市側が受け入れる考えを持っている場合には、高陵小学校校地とする中宮北小学校と高陵小学校を統合する計画を受け入れることにしたい」と書いてありますが、この言葉に違わないようにしてほしいです。

(意見 17)

先ほど意見がありました方のことの誤解を解けたらと思います。高陵のほうに新しい学校ができていいなと、そしてこちらのほうにまだ跡地計画ができていないのは残念だと、そういう話がありましたが、私たちは、高陵小敷地に新しい小学校が設置されることは承知していますが、高陵小学校ができるとは思っていません。その地区に新しい学校ができて、その校地はどちらがふさわしいかというお話をされたということです。また、私たちが全てを納得したわけではないです。地盤の安定性や30年前の統合計画の経緯であるとか、そういうものを全部含めると、すべて私たちが納得したわけではございません。しかし、個人的に納得した理由は、両校区合わせてもそんなに大きな校区でもない。また、例えば御殿山図書館とか、そういう文化施設も含めて、あまり便利ではありませんので、これをもっと広めに考えまして、全体としていいものができたら、これは将来受け入れられる形になるんじゃないかと、それはそれで納得できると思いましたので、私は受け入れるということにしました。決して高陵がきれいになって、ここがなくなるというような、吸収合併ではないということは、最初から教育委員会も言っていることですので、そういう印象が残るような今後の進め方はしないでいただきたいと思います。高陵小学校でも中宮北小学校でもない新しい学校となるようにぜひ教育委員会も進めていただきたいと思います。先ほどのご意見も誤解だったなとなるように努力していただきたいと思います。

(回答 16-17)

ありがとうございました。今後も皆さまに喜んでいただけるような施設づくりを行っていきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

(意見 18)

中宮北校区の保護者です。いつも説明会に参加させていただいて感じることは、子どものための統合なのに子どものことがあまり上がらずになっている印象があるので、今日は、はっきりと言わせていただきたいのですが、中宮北小学校の令和4年4月から、仮設校舎を6教室建てて運営していくということなんですけど、資料6ページ目、令和4年度に両校を1つにした場合の児童数、学級数のところを見ながら話をさせていただきたいのですが、この1年生とか2年生とか、一応3クラスになっていて、1クラスあたりの平均が24となっているのですが、例えば実際に、この統合のことが話題に出たときに、こういうふうに学校が一緒になるのであれば、小学校から私学に入れようかなというお話も耳にする機会があるんです。例えば、2年生も1人減っただけで、35人学級2クラスになるんです。そういうことも踏まえて、このコロナ禍の中で35人1教室というのが、正直すごく不安なんです。今からでも可能であれば、6教室ではなくて、2階建てでも、少し大きな部屋をとることができるということであれば、すべて大体25人までぐらいの児童にさせていただきたい。統合で子どもたちはいろんな不安も抱えるかと思うので、先生が少しでもたくさん目を向けられるような25人学級ぐらいで運営していただくということではできないのかなと思っています。実際、例えば5年生でも3クラスにさせていただいたら、1クラス24人になりますし、4年生を3クラスにさせていただくと21人ぐらいなので、今の高陵小学校と中宮北小学校、両方とも30人を超えているところもあるかと思いますが、この中宮北小学校で過ごす間、4年間だけでも手厚くしていただけることというのはできないものでしょうか。ずっと説明会に参加してきて気になってたところですので、少し考えていただきたいと思います。後、先ほど高陵小学校の保護者の方から支援学級についてのお話があった、教育委員会の方からいただいたお話が、私はよく分からなかったのですが、どちらの学校も、一般的に枚方の小学校すべて運営は同じような形でやっていますというご説明があったかと思うんです。もちろんそうだろうと思うのですが、不安なところはそうではないと思うんです。まず子ども同士の環境が変わるだけで、とても不安です。子どもの数がいきなり増えて、全然知らない子が増えただけでも不安です。そういったものをどのように取り除いていくのかも1つだと思いますし、働いている親御さんも多くいらっしゃる中で、どれだけ安心して子どもを預けることができるのかを11月までに、きちっとクリアしていただかないと、親御さんは安心して子どもを預けることができないということをよく考えていただいて、支援学級に入るかもしれない子どもたちに対しての配慮を深く考えていただきたいと思いました。

(回答 18-1)

おっしゃっておられるように、教室数につきましては、非常に課題でもあると認識しています。しかしながら、正直に言いますと、25人学級の実現は厳しいところです。ですので、コロナ禍の中でできる限り何か工夫して、学校づくりを検討していきたいと思っています。今

おっしゃっておられることを含め、できる限り子どもたちにしわ寄せがいかないように、考えていきたいと思えます。

(回答 18-2)

支援学級の児童についてですが、新1年生に限って、例えば支援学級を見学するのであれば、どちらの学校の支援学級を見ていただいても同じですということでお伝えしました。もちろん支援学級在籍の児童の種別が同じだから、一緒になっても大丈夫であるとは思っていません。それは先ほど校長先生にも相談しなければいけないといったとおり、1年間かけて、例えば支援学級に在籍している子ども同士がお互いの支援学級の教室で合科等を行ってみるとか、いろんな場面で交流しておかないと、いきなり一緒になることは無理だと思っています。そこについては、本当にご意見いただいたように、丁寧に対応していくつもりですので、よろしく願います。

(意見 19)

中宮校区に住んでいる者です。前回5、6年前の説明会のときに来ました。そのときは、教育委員会の説明は、いわゆる統合するの、ある程度の規模が必要だという説明を受けたと思います。ある程度の規模の中で、子どもが切磋琢磨して成長するということを堂々とおっしゃっていました。だから、統合する理由が切磋琢磨という感じで、それなりの規模が必要という説明だったんです。決して、お金の問題じゃありませんというようなことを話されていたんです。その一方で、前回は跡地を売却しますということをおおわせていたわけですよ。今回はいろいろと書いていますが、今、コロナ禍で先が見えない状況で、私は15人とか20人とか、それぐらいの規模の方が子どもに十分目が届きますし、子どももゆっくり教育が受けられますし、切り替えのチャンスじゃないかなと思うんです。そこに踏み出してもらいたいと思えますね。後は、跡地利用については、関西外大に売らないということを名言してもらいたい。

(回答 19)

前回のご説明の時には、切磋琢磨に偏ったご説明になってしまったかと思いますが、切磋琢磨論だけではなく、学校運営等のこともございます。小規模校は学校の先生が少なく、その中で学校を運営していくのは、大変で教員の方々にはご苦労いただいております。今まで説明会等で、保護者の皆さんから今のままで何も困っていない、逆に少ない人数で見ていただいている等のご意見がございました。おっしゃるとおり、目がいきとどきやすく手厚い教育を受けるということなど、小規模校にもメリットはございます。しかし、学校を統合することによって、それがなくなるわけではなく、小規模校のメリットをきちんと継続していくような学校づくりを行っていく必要があると思っております。一方で小規模校では、先ほど申しましたように、教員が少ないことや、施設の管理面、財政面の問題もございます。その中で1つの学校にして、小規模校の良さを継続しながら、デメリットの部分をカバーしていく。そして地域の皆さまと協議をしながら、よい学校をつくっていくものだと考えます。ですので、皆さまからご意見をいただいて、よりよい環境をつくっていきたくて思っておりますので、ご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。また、跡地活用につきましては、関西外大を個別に指定して売るとか売らないということは、我々の立場では申し上げにくい部分ではございますが、今我々がお伝えできる

ことは、中宮北小学校の敷地をなくすのではなく、これを活かして地域の発展につなげていきたいと考えています。「公的な施設」というのは市役所だけで考えるのではなく、民間の活力を受けるといった方法もごさいます。皆さまと共に、どのような土地活用をしていくかということを検討していきたいと思ひます。跡地活用は検討に時間がかかりますので、具体的なことを皆さまにお伝えするには、もう少しお時間をいただきたいと思ひます。一部売却というの、誤解のないようにしたいのですが、財源確保のために全部売却するということではごさいません。跡地活用を考えた上で、不要地が出た場合等について一部売却の可能性があるとことですので、誤解のないように願ひします。

(意見 20)

跡地利用についてですが、スケジュールとして、どの程度具体的に話が進んでいるのか、これから始まるのか、それは、地域住民の意見を出す場が設けられるのかどうかということがお聞きしたいです。やはりこの地域が大きく変化していくというところで、地域住民としては不安がすごくあるのが正直な気持ちなので、おっしゃっていただいているように、やはりこの中宮北小学校の跡地は、子どもたちのためや、地域のために十分活かしていただけるような、公的な施設で残してほしいという気持ちを私もすごくもっています。ですので、これからの進行スケジュールや、こういう説明会の場や、意見を言える場がどれくらい設けていただけるのかというのを聞きたいと思ひます。

(回答 20)

跡地活用につきましては、正直に申し上げますと今の段階では、何も進んでおりません。まずは学校統合の実施プランがあつての話になりますので、まずは今回、高陵小学校と中宮北小学校の統合の方針をしっかりと皆さまにお伝えさせていただき、次に跡地活用の検討を始めていくという順序となっております。また、跡地活用のスケジュールについては、今のところ皆様にご説明する段階ではごさいません。ですが、ご説明させていただいたように高陵小学校の敷地に新しい学校の新設が令和8年以降ということになりますと、それまでに跡地の計画をある程度まとめたものにしていきたくて思ひます。跡地活用は教育委員会だけではなく、市長部局としっかりと協議を重ねて進めていきたくて思ひます。そして新しい学校づくり協議会でも、検討をさせていただきたいので、皆さまのご意見を聞けるような場を持つことを考えていきたくて思ひます。まだ具体的なことは申し上げられませんが、勝手に決めてしまつて皆さまにお伝えするような形にはならないよう、状況をお伝えしていこうと思ひます。

(意見 21)

中宮北小学校の保護者です。今年の秋から仮設校舎の工事が始まるということなんですが、そもそも6教室があるのかと思うのですが、建てられるのであれば運動場が狭くなって使いにくいと思うんです。例えば2階や3階建てにして運動場が狭くならないようにしていただくとか、設置場所を変更していただくことは可能でしょうか。

(回答 21)

大変申し上げにくいのですが、仮設校舎の設置場所につきましては、今の段階で変更はできません。先に文化財調査をする必要がございまして、設置場所については決める必要がござい

ました。仮設校舎の場所につきましては、今計画させていただいてます場所になりますので、ご理解いただきたいと思うのですが、児童への影響が最小限になるよう努めてまいりますのでよろしくをお願いします。

仮設校舎の詳細は、これから検討していきますので、今後必要に応じて、もう少し具体的なことを皆さまにお伝えできると思います。それから、本日ご帰宅されて、聞いておけばよかったというようなことがあると思いますので、学校安全課、来年度は新しい学校推進室となりますが、ご連絡いただきましたらご説明もいたしますので、どうぞよろしくをお願いします。本日は、皆さまにアンケートをお配りしております。新しい学校に向けての、どういうことをしてほしいとかございましたらご意見をいただけたらと思いますので、どうぞよろしくをお願いします。

(意見 22)

今日の参加者の数はどれくらいですか。

(回答 22)

参加者の数は、中宮北校区が 16 名、高陵校区が 23 名となっています。今日は、中宮北校区の地域の方々に情報が伝わっていなかったということで、ご指摘いただきました。今後こういうことがないように、と思います。

(意見 23)

現在学校に通っている児童や、次に新 1 年生で入ってくる子どもたちに、統合のことはどうやってお伝えされるのでしょうか。

(回答 23)

子どもたちへの統合の伝え方は、非常に難しいと思っています。これにつきましては、学校とご相談させていただきたいと思っています。この 1 年かけて、両校の子どもたちが自然に来年 4 月を迎えることができるようにするには、どうしたらいいのかということは、教育委員会だけで考えることはできません。両校の先生方と相談しながら知恵を絞っていきたいと思っています。学校統合という難しい四字熟語を子どもたちに伝えてもわかりません。そこをどうしていったらよいか、学校と教育委員会と協議しながら進めていきたいと思っています。また、皆さまからのご意見もいただきたいと思っていますのでよろしくをお願いします。

(意見 24)

通学路についても高陵小学校に通われている児童と一緒に歩いたりする予定なんですか。

(回答 24)

今後検討していきたいと思っています。学校統合の中でも、新しい通学路の設定は大きな課題と考えております。

(意見 25)

毎日通学するのは子どもであり、暑い時や寒い時、暗い時、児童会から帰る時、1 人で帰る時などいろいろあると思いますので、全部含めて子どもに何もないように、しっかりと考えていただきたいと思います。

(回答 25)

子どものことを第一に進めていきたいと思えます。

(意見 26)

3月14日の中宮北小学校保護者説明会にも参加させていただいた保護者なんですが、14日の説明会では他市の学校の先生とか、医療従事者のお母さん方とかから、令和3年から1年間かけて、コロナの中で少し早過ぎるのではないかと、感染の問題もあって危険ではないかというご意見もありましたが、意見を聞きます聞きますと言って、やっぱり令和4年4月なんだなと思って、少し残念だなと思っています。やっぱり言わないと分かってくれない、言っても分かってくれないので、ここに参加された皆さんが、本当に目を光らせて、どんどん意見を言っていただきたいと切に思えます。私もずっと参加してきているのですが、全然意見が変わらないというか、令和4年4月は絶対なんだという感じで進めておられて、悔しいというか、コロナの中なぜそのようなことになっているんだろうと思いつつ、参加をしているのですが、どうか皆さん、新しい学校を進めるにあたって、お任せにせずに興味を持って、どんどん児童会とか支援学級とか、通学路のこととかを言っていただきたいと本当にお願ひしたいと思えます。高陵校区の方々もよろしくお願ひします。

(意見 27)

高陵校区です。今後の子どもたちが安心して通える学校ということで、口で言うのはできるのですが、やはり現実が大事だなと思うんです。人数に関したら少ないほうがいいのですが、35人で定められてますし、校舎や土地もないことはないと思うんです。多分、仮設校舎を2階建てにするとコストがかかるのかなと思ったりするんですけど、絶対にできるなと思うことは、統合による教職員の加配は可能だと思うんです。職員が増えただけで、子どもへの手厚い指導とか、個々に応じた教育であるとか、1人いるだけでもぐんと違うと思うので、ぜひ必ず加配をつけていただきたいと思っているのですが可能でしょうか。

(回答 27)

教職員の加配につきましては、おっしゃるとおり統合を考慮し加配していただけるよう、我々も大阪府にお願ひします。予定なんですが、令和3年度は1人加配いただくことにはなっています。しかし、令和4年度以降も加配されるかどうかは分かりませんので、引き続き大阪府のほうに要求していきたいと思えます。

(意見 28)

今コロナの影響で、仕事や会議などいろいろな場面でリモートしたり、zoom等を活用してリアルタイムで中継等も行われています。先日、市の別の組織で防災関係についてリモートで配信するというも行われており、参加することができなかった方も見ることができますので、ぜひ今後、検討していただけたらと思えます。また、学校統合に関するだけでなく、教育関係のところでもご検討いただけたらと思えます。

(回答 28)

ご意見ありがとうございました。

(意見 29)

小学校は学びの施設以外に、避難所としての機能もあると思えます。できれば公的機関でと

思うのですが、高陵小学校を建替える時、学校に大量の備蓄があるのですが、その辺を保管できる場所、端っこでもいいと思いますが、そういうスペースというのも考えていただきたいなというのがあります。大量の備蓄がありますので、それをお願いします。

(回答 29)

備蓄につきましては、以前にご意見をいただいたところもあり、詳細の計画を立てていきたいと思います。またご説明させていただくことになるかと思います。

(意見 30)

今見てて気がついたのですが、3ページ目に学校の児童数が書いてあって、括弧の中に支援学級の児童の数が書いてあると思うのですが、支援学級にいる子どもの保護者たちは枚方市の制度というのは、ご存知と思うのですが、枚方市は、ダブルカウントといって、支援学級に在籍している子どもも普通の教室に在籍しているものとして、人数に数えられます。例えば今、6年生のところで、高陵が26人とあり括弧で3人と書いてあるんですけども、足して29人いるわけではなく、26人の中に3人いて、全部で26人ですよという書き方をしています。その注意書きがここにはないので、全然知らない人が見たら、26人と3人がいるのではないかと、支援学級に関わりがない人は、もしかしたら知らない方がいらっしゃるかもしれないので、枚方市のホームページを見ても、ダブルカウントしてますよというのは大々的に書いてあるわけではありませんし、支援学級に在籍して初めて知るような制度だったりしますので、もし今後、何か児童数を書くタイミングが出てくるようであれば、枚方市独自でダブルカウントとして、35人の中に支援学級の子どもも含めてみますと、なぜ35人いて、支援学級の子どもが1人、2人追加で学校に机が37や38並ぶのではなく、全体で35個しか机は並びませんという、基本理由の分かるような書き方をされたほうが、支援学級というものを初めて聞くようなお母さんが来られたときに、これを見て足し算を間違えて考えられてしまうと、またそこで誤解を生んだまま進むようになるかもしれないので、もし次、何か数を書くことがあれば、よろしくをお願いします。

《終了 15:58》